

令和元年度第1回総合教育会議 概要

日時 令和元年11月1日(金)

15:00～16:55

場所 本庁舎会議室401

1 参加者

夏野市長

長井教育長、眞岸委員、宮原委員、織田委員、野上委員
(事務局)

企画管理部 島木部長

政策推進課 盛光課長、佐藤課長補佐、旅家主事

未来創造課 坂井課長

子育て支援課 北課長、網課長補佐

教育委員会事務局 松長事務局長、丹羽次長

学校教育課 菅原課長、竹内課長補佐

生涯学習・スポーツ課 宮本課長

教育センター 清水所長

2 議題

(1) 今後の外国人教育のあり方について

①外国人児童生徒等に対する教育の現状と課題について

②就学前外国人の保育・幼児教育の現状と課題について

教育委員 就学前の話聞いたが、保育園や幼稚園は子どもが初めて親を離れて集団生活の中で日本語を学ぶ大事な時期である。小学校には日本語指導員がいるが、保育園や幼稚園の現場にはいるのか。

子育て支援課長 保育園、幼稚園の現場において日本語を指導する方は特に配置していない。現状としては、身振り手振りやイラストで意思疎通を図っている。保護者の中には翻訳機を利用したり、ポケトークやアプリを使ったり、友人等に翻訳を依頼したりしてコミュニケーションを取っている人もいる。

教育委員 保育園でボランティアをしているが、ただでさえ慣れない園生活でいらいらすると思うのに、外国の子どもは言葉が通じないので尚更ストレスになると思う。読み聞かせをしているときに急に立ち上がったり、奇声を

上げたりする子もいる。そのようなとき、保育士さんが優しくその子に対応し落ち着かせている。また、本当に危険なことはカードで示すなどの工夫をしてコミュニケーションを取っている。このように、現場では保育士のマンパワーに頼っているのが現状と感じている。たとえば、外国人の保護者との関係において、通訳できる方を交えて保護者懇談会を開いてはどうか。通訳を通じて保育園での様子を保護者に伝え、逆に保護者から家での様子を教えてもらう双方向のコミュニケーションが取れたとき、信頼感が生まれ保護者の態度が大きく変わることがある。また、保護者の態度が変わることで子どもの様子も落ち着くようになる。信頼関係を築くことで非常に円滑に小学校生活に進めるのではないかと思う。各保育園に通訳の方を配置できなくても、子育て支援課に通訳の方を配置するなど、外国人の保護者が気軽に相談しやすい環境にしていればいいのかと思う。

教育委員 外国人の保護者の対応をしてくれる人が必要である。0～1歳の子どもは日本人だろうが外国人だろうが変わらない。逆に保育園で日本語のシャワーを浴びることで日本語を自然に身に着ける。保育園で小さい頃から過ごしていればある程度の日本語を話せるようになるので、子どもに関する問題は小学校に入ってからだと思う。大変なのは保護者との関係づくり。自分の子どもが保育園に通っていた時、保護者と保育士との間の連絡帳を見て安心して子供を預けていた記憶があるので、そういうものがあると保護者との関係がよくなると思う。簡単なフレーズで構わないので「今日は一日元気に過ごしました」等のコメントを外国語で書くためのマニュアルがあればいいと思う。

学校教育課長 小中学校にはマニュアルがある。

教育委員 保育園向けにもそのようなガイドブックはある。しかし3か国語くらいで対応したものを見たことがあるが、なかなか保護者に伝わらないと聞いている。

市長 学校や家庭でのサポートとして外国人相談員の方に大変ご協力いただいている。正直大変な中で、そのような方を更に育成して確保したいと思うが、なりたいたい方がなかなかいらっしゃらない。多文化共生の取組と教育の取組の組合せがなかなか難しく、もどかしく思っている。

教育委員 乳児のころから市内に住む子は日本語を話せても、小学3年生くらいのときに日本に来た子で、外国人相談員の方が週に1回来ても、支援員

の方がなかなか来れないという環境にあったら、学習の定着がままならない。そのまま中学校に行っても、小学校で身に付けるべき知識が無いまま進学しているので何もわからないままという状況になっている子もいる。支援の隙間で何も受けていないお子さんで、その後キャリア教育をしようにも高校にも行けず、家の手伝いをするでもなく、街をうろうろしているパターンもある。早いうちに関わりを持つことが大事だと思う。企業の指導員の方による中学校でのキャリア教育があればよい。自治体だけでなく企業等と連携しながら、フリースクールのようなものを立ち上げられたらよい。

教育委員 私が勤めていた小学校にもブラジル人等多くの国籍の子がいた。いつの時期から日本で生活しているかが大きなポイントだと思う。両親より日本語が上手な子も多く、両親が病院や市役所に行くとき通訳をするため学校を休む子もいたが、ある程度大きくなって日本に来たら日本語に馴染めない。企業や商工会議所で、合同の外国人向けの日本語教室を開くなど保護者とのコミュニケーションを取る取組が必要。今後就労の関係で外国人が増えることを見越した日本語教室が必要になってくる。学校では子どもに対して授業をするが、保護者に対してうまくフォローするシステムが大事で、それができればより魅力的な射水市になれると思う。

市長 外国人の増加が想定される中で、企業における生活習慣等の指導は今後もしっかりなされると思うが、日本語も含めその家族、子どもたちまで行き届く手厚い体制が作れるかという点、すぐには手が回らないと思う。

教育委員 コミュニケーションが取れないと生活しようにも勉強しようにもどうにもできないので、翻訳機を貸し出せるくらい整備し、地域のイベントの際に貸し出して外国人の方と交流できるようになれば、日常の細かいことなど相談できる関係が作れると思う。保護者と学校とのコミュニケーションにおいて、子どもが通訳をしては都合が悪い場面もあると思う。そのようなとき、学校に1台翻訳機や翻訳アプリが入った端末があればよい。人的支援は難しいと思うが、ハード面でできる支援はあると思う。

市長 そのようなツールをうまく活用するのも大事だと思う。

教育委員 岐阜県可児市では、日本語がわからない外国人の子どもが来たとき、3か月間プレスクールに入れてから普通教室に転入させるそうだ。3か月の間に、外国にあまり無い文化や習慣をある程度身に付けることができる。そのプレスクールには、入ったばかりの子ともうすぐ3か月という子が混在

している。この取組を知って、日本語がわからない子をいきなり普通の学校に入れるよりも良いと思った。私の子どもの同級生にも外国人の子どもがいて、馴染みにくいのかと思って様子を聞いてみたところ「個性だと思えば大丈夫」と言われた。子どもの方が大人より抵抗なく外国人の子どもを受け入れている。大人だけでなく、周りの生徒たちに協力してもらうような、日本語クラブのようなものを作ってもいいと思う。

教育委員 子どもは、自分という存在を認めてほしくて突拍子もないことをすることがあるが、そのような子でも6年生になると子ども同士で勉強を教える等落ち着きを感じさせることがある。子ども同士の学び合いが非常に大事である。子どもは年齢を重ねるごとに落ち着きを持つので、それを踏まえ適切に人材を配置していただくことが基本的な支援かと思う。信頼関係の中でしっかり指導していただくと、学ぶ意欲も出てくる。

教育委員 可児市は外国人教育に何千万円という予算を使っている。射水市でもお願いしたい。

市長 教育の現場であれ、生活の現場であれ、ちょっとした話を聞いてくれる人がいることで子どもにとって安心感があり、物事への対応がしっかりするという感覚はある。可児市でのプレスクールの話をされたが、ほかの自治体でも事前学習の取組をしているところがある。仮に射水で実現する場合、言語の種類ごとに施設を確保しなければならないこともあり、どのような体制を作ればよいのか難しいところである。先進事例のノウハウを研究しながら検討しなければと思っている。

教育委員 そのような教室であれば、授業はすべて日本語で構わない。小学校1年生の教科書から、日本語で日本語をやさしく教えられる人がいれば十分。

市長 地域で受け入れていただく体制の整備も必要だと感じている。また、一度日本に来た家族が母国に帰ったとき、子どもが母国語を十分に話せず母国に馴染めないという問題もあるようで、難しさを感じている。

教育委員 緊急情報発信についても多国籍化が進んでいる。「頭が痛い」「おなかが痛い」等緊急性が高いメッセージだけでも簡単なメッセージカードを作り、子どもに持たせたり学校に配置したりすればいいと思う。

③多文化こどもサポートセンターについて

教育委員 現在利用中の25名は太閤山地区近くに住んでいる子どもだけな

のか。

未来創造課長 堀岡地区から参加している子どももいる。

市長 歩いて行けるエリアでなくても参加はできるので、PR についてもっと考えればいいのかと思う。

教育委員 多文化の子どもの交流というのであれば、もっと広域から参加できればいいのかと思う。周知もそうだが、子どもたちのニーズを満たす内容を実施しているのか、知りたい。

未来創造課長 簡単な学習支援をするほか、日本の子と外国の子と一緒に遊ぶことで日本語の習得につながっている。

教育委員 内容だけでなく、やり方も工夫していけばいいと思う。

教育長 外国の子が射水市で過ごしたイメージは、母国に帰ったときそのまま日本のイメージになるので大きな責任を感じている。逆に、グローバルな感覚を身に付けるとい点では射水の子どもたちは恵まれた環境にいると思う。人材育成が困難な場合の代替策として ICT の活用が挙げられる。難聴の子たちが音が大きくなる機器を利用しているように、ツールを使って対応することはできると思う。また、子どもの力を借りて子どもを育てることについては、射水市内の様々な場所で展開している。しかし、それぞれの場所でやっていることが点的になっており、面的なネットワークが構築されていないように思う。企業、地域、学校それぞれが力を合わせてネットワークのような体制を作りつながっていくことが人材を活かすうえで必要だと思う。

市長 確かに、射水市はこれまでも外国の子どもの受入れは多かったため、それぞれの学校において何らかのノウハウの蓄積があると思う。それをどこまで共有できるのか。関係者間で情報交換ができる機会やツールを設ければよいのか。

教育委員 多文化こどもサポートセンターの利用は無料か。

未来創造課長 無料である。

教育委員 「ワイワイにほんごたいこうやま」は。

未来創造課長 そちらは 1,000 円の参加費が必要である。

教育長 すべてのコミュニティセンターは難しくても、新湊や大門の各地区にそのような施設が増えればいいのかと思う。

教育委員 私が教育現場にいたとき、母国に帰る子について、日本の小学校

に何年生から何年生まで在籍していたという証明書を求められたことがある。日本の学校で勉強したことは母国に帰っても役立つという思いで学校に来てほしい。日本のよさを含めて日本で学習してほしい。

教育長 市民病院には通訳を配置しているのか。

市長 市民病院では通訳の機器を取り入れている。

教育長 外国の子どもに対することは教育委員会のみでなく、あらゆる分野で取り組まなければ難しいと思っている。部局横断的なチームを作り、何ができるのか検討する場を作るだけでも市内の情報共有ができる。そのような場ができるといい。

市長 外国籍の子どもたちが置かれている環境、それに対してどう効果的な教育やコミュニケーションを行うかについて様々なご意見をいただいた。子どもについての意見が多かったが、今後外国人が増えていく中で、射水市として、より外国の方が住みやすい地域づくりを進めていく体制構築が必要だと改めて感じた。

(2) 市立大門わかば幼稚園の認定こども園化について

教育委員 他の認定こども園と比べると定員が少なくないか。

市長 大門地区内に大門きらら保育園があることもあり、まずは短時間保育に限定した募集をしたいと考えている。

教育委員 働きたい方々にとっては朗報だと思う。少子化が進んでいるのに保育園の申し込みが増えているので、その対応は今後考えなければならないと思う。

市長 保育ニーズの高まりは感じている。既存の園では受け入れ体制がある程度整っているが、大門わかば幼稚園については、今後の課題である。できれば、大門きらら保育園と対比させ特色を持たせたいと思っている。

教育委員 幼児教育を受けさせたい親の思い、また働きたい親の思いを考えると、16時15分にお迎えに行くのは厳しいと思う。延長保育は考えているのか。

市長 今後、見直しが必要とは思っている。

教育委員 新しく保育園機能ができるということは保育士も追加で配置されると思うが、射水市には保育士がたくさんいるのか。

市長 毎年、年度当初に入園する子どもに対応できる保育士の確保はできて

いるが、途中入園の子の手当てがなかなかできない場合がある。民間の保育園ではさらに人材不足が深刻で、保育士が不足しているため入園を断るケースもあると聞く。

教育委員 保育園を見ているとパートの保育士が多い印象があるが、彼らを正規職員にすることはしないのか。

市長 正規職員では、任期付き保育士として募集をしているが、なかなか定員に満たない。任期付き職員になると担任を持たなければならず、責任が大きくなるので敬遠される方もいらっしゃるそうだ。

様々なご意見をいただいたが、子どもたちにとって、また皆さんにとってよりよい環境づくりができるように、他市の取組を参考にしながら幼児教育の充実について、今後ともご協力いただきたい。

教育委員 子ども医療費助成や手当が充実しているからという理由で射水市に住む外国の方もいると聞いている。その中で本当に射水市に居住していて、手当等の対象になっているのかどうか、限られた予算での支援なので、状況の把握をしっかりしてほしい。

市長 ご指摘のとおり、注視しながら進めていく。

射水市として、多文化共生の体制をどう構築していくのか、どう充実を図るのが大事だと実感した。まずどこからできるのか、どこを目指すのか関係の方々と意見を交換しながら定める必要があると思う。射水の未来を担う子どもたちが自分の夢に向かってがんばっていけるように、夢を叶え活躍できるようにするにはどうすればいいのか、今後ともご指導ご鞭撻をお願いしたい。